

地域再生計画変更新旧対照表(1/2)

頁	変更後	変更前
計画書本体		
1頁 4行	2. 地域再生計画の作成主体の名称	2. 地域再生計画の作成主体
2頁 21行	(目標1)農林業の振興 ・間伐実施面積の22%の増加	(目標1)農林業の振興 ・間伐実施面積の20%の増加
3頁 17行	5. 目標を達成するために行う事業 5-2 道整備交付金を活用する事業 [施設の種類(事業)区域、事業主体] ・町道(いの町)、いの町 ・林道(いの町)、いの町、高知県	5. 目標を達成するために行う事業 5-2 道整備交付金を活用する事業 [施設の種類(事業)区域、事業主体] ・町道(いの町)、いの町 ・林道(いの町)、いの町
3頁 23行	[整備量及び事業費] ・町道10.0km 林道22.6km ・総事業費1,826,600千円(内交付金864,066千円) (内訳) 町道792,000千円(内交付金396,000千円) 林道1,034,600千円(内交付金468,066千円)	[整備量及び事業費] ・町道10.0km 林道17.1km ・総事業費1,193,000千円(内交付金552,066千円) (内訳) 町道792,000千円(内交付金396,000千円) 林道401,000千円(内交付金156,066千円)
4頁 7行	②林野庁の森林環境保全整備事業を活用し	②林野庁の森林居住環境整備事業を活用し
添付資料2	林道長沢立橋線 H22 C=28,800(9,600) L=1,463 森林基幹道寒風大座礼西線 H21~H22 C=200,000(100,000) L=1,060 森林基幹道土居柳野線 H21~H22 C=400,000(200,000) L=1,760 林道笹谷線 H18~H21 C=67,200(33,600) L=3,180 林道約束田線 H19~H21 C=43,200(21,600) L=1,960 林道土居柳野線 H18~H19 C=28,800(14,400) L=1,601	林道笹谷線 H18~H20 C=62,400(31,200) L=2,500 林道約束田線 H19~H21 C=43,200(21,600) L=1,800 林道土居柳野線 H18~H19 C=28,800(14,400) L=1,220
添付資料3	○町道と林道の一体的整備 ・林道(機能向上や林業振興のために、森林基幹道「土居柳野線」「寒風大座礼西線」林道「笹谷線」「笠成線」「土居柳野線」「約束田線」「松ノ木川窪線」「川窪島ヶ峰線」「川原田線」「大峠線」「柳野カゲ線」「長沢立橋線」を整備。) 事業計画期間 平成18年度~22年度	支援措置 道整備交付金の活用 ○町道と林道の一体的整備 ・林道(機能向上や林業振興のために、林道「笹谷線」「笠成線」「土居柳野線」「約束田線」「松ノ木川窪線」「川窪島ヶ峰線」「川原田線」「川原田線」「大峠線」「柳野カゲ線」を整備。) 事業計画期間 平成18年度~22年度

地域再生計画変更新旧対象表(2/2)

頁	変更後	変更前
添付資料4	<p>いの町における、地域再生計画(豊かな自然と心に出会えるまちづくり計画)を進めるうえで、支援措置事業(道整備交付金)による町道L=10.0kmの未整備区間の整備及び林道L=22.6kmの内L=19.8kmの舗装及び2.8kmの開設を行い、広域的なネットワークを構築し各種公共施設や森林施業地へのアクセス条件の改善や、山岳観光道路としての整備を行い都市部との交流人口拡大を図る。また農林業の振興を図り、過疎化・高齢化の著しい本町の中山間地域において安心して暮らせるまちづくりを推進するために、下記事業を関連して実施する。(平成18年度～22年度)</p>	<p>いの町における、地域再生計画(豊かな自然と心に出会えるまちづくり計画)を進めるうえで、支援措置事業(道整備交付金)による町道L=10.0km及び林道L=11.1kmの未整備区間の整備を行い、広域的なネットワークを構築し各種公共施設へのアクセス条件の改善や、山岳観光道路としての整備を行い都市部との交流人口拡大を図る。また農林業の振興を図り、過疎化・高齢化の著しい本町において安心して暮らせるまちづくりを推進するために、下記事業を関連して実施する。(平成18年度～22年度)</p>